

事業名	特色ある優れた大学教育の一層の展開（グッド・プラクティス(GP)）	
主管課及び関係課（課長名）	（主管課）高等教育局大学振興課（課長：小松親次郎） （関係課）高等教育局専門教育課（課長：杉野 剛）	
施策目標及び達成目標	<p>施策目標 3 - 1 大学などにおける教育研究機能の充実          達成目標 3 - 1 - 7 大学教育改革への種々の取組の中から、国公私立大学を通じた競争的な環境の下で、特色ある優れた教育プロジェクトを選定し、広く社会に情報提供を行うとともに、財政支援を行うことにより、高等教育の活性化を図る。</p>	
事業の概要	<p>大学教育改革への種々の取組の中から、国公私を通じた競争的環境の下で特色ある優れた教育プロジェクトを選定し、社会への情報提供とともに、重点的な財政支援を行うことにより、高等教育の更なる活性化を図るため、以下のプログラムを実施する。</p> <p>（１）特色ある大学教育支援プログラム          大学教育改革における特色ある優れた取組を支援          平成17年度新規公募の実施</p> <p>（２）現代的教育ニーズ取組支援プログラム          各種審議会の提言等、社会的要請の強い政策課題に対応した取組を支援          平成17年度新規公募の実施とともに、地域再生への貢献に係る公募テーマを新設し、重点的に支援（「地域社会との連携強化（案）」）</p>	
予算額及び事業開始年度	平成17年度概算要求額：7,812 百万円（平成16年度予算額 5,121 百万円） 事業開始年度：平成15年度	
事業開始時において得ようとした効果	本事業は、高等教育の活性化を図ることを目的に、大学教育の改善に資する種々の取組のうち特色ある優れたものを選定し、広く社会に情報提供を行うことにより、各大学において、教育改善の取組が積極的に行われることを期待している。	
得られた効果	<p>本事業において、平成15年度は、特色ある優れた取組を80件選定（応募は 664 件）。さらに、選定された取組の事例集を作成するとともに、東京、大阪でフォーラムを開催し、広く社会に情報提供したことにより、各大学において積極的な教育改善の取組が行われている。取組が選定されなかった大学についても、応募に至るまでの学内における検討が大学の活性化に役立ったとの評価を得ている。さらに、平成16年度は、「特色ある大学教育支援プログラム」の新規公募を行い、58 件（応募 534 件）の特色ある優れた取組を選定したところであり、それとともに、社会的要請の強い政策課題に対応した「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」を実施し、300 以上の大学から 559 件もの申請を受けるなど、各大学における教育改革のインセンティブとなっている。</p>	
得ようとする効果	<p>継続的に大学教育改革への種々の取組のうち特色ある優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、各大学における教育面での改革の取組を一層促進する。          国公私を通じた中で、優れた教育プロジェクトを選定及び財政支援することにより、大学間の競争的環境を醸成し、高等教育の活性化を促進する。</p>	達成年度
		平成20年度
必要性	<p>大学の個性化、多様化や国際競争力の強化が求められる中、大学における教育の質の充実や世界で活躍し得る人材の養成は、非常に重要な課題となっており、各大学における教育面での改革の取組を一層推進していくことが必要不可欠である。</p> <p>「特色ある大学教育支援プログラム」については、平成15年度、664件の応募に対して80件を選定し、平成16年度は534件の応募に対し、58 件の特色ある優れた取組を選定したところである。</p> <p>さらに、平成16年度は「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」を新たに実施し、559 件の申請について、現在、選定作業を進めているところであり、競争的環境の下での財政支援方策の拡充を図っている。</p> <p>大学教育改革については、社会的な関心も高まっており、各大学における積極的な教育改善の取組のインセンティブとして、この事業の必要性は高まっている。このため、新たなテーマ設定や財政支援の強化等、当事業の拡充により、創造的な大学教育改革の促進と高等教育の更なる活性化を図る必要がある。</p>	

効率性	<p>大学教育改革への種々の取組のうち、特色ある優れたものを選定し、国公私を通じた財政支援を行うことで、競争的な環境の整備や資源配分の効率化が図れるとともに、高等教育全体の活性化を促進することができる。</p>
<p>有効性</p> <p>効果の把握の仕方 (検証の手順)</p> <p>得ようとする効果の達成見込みの判断根拠(判断基準)</p>	<p>本事業に対する応募と選定の状況、選定された取組の実績報告、作成した事例集や開催したフォーラムへの社会的反響等を通じて把握するとともに、当該プログラムの効果を検証するために選定委員会委員との共同による選定大学への実情調査、さらには、外部機関を活用した高等学校での進路指導における活用状況調査等の実施を検討。</p> <p>本事業の実施に対し、各大学においては、将来的な実施も含め教育面での改革が行われていることの証として、種々の特色ある取組を応募しているとともに、その中から国公私を通じ優れた取組を選定することが、大学間の競争的意識・環境を醸成し、それが高等教育全体の活性化の促進につながっているため、今回の拡充でも同様の成果が得られるとともに、選定された取組の実績報告書により大学内の教育面での改革状況の把握や、事例集・フォーラムへの社会からの反響等により社会からの批評や他の大学への波及効果を検証できるので成果への判断は可能。さらに、当該プログラムの効果を検証するため選定委員会委員との共同による選定大学への実情調査、外部機関を活用した高等学校での進路指導における活用状況調査等の実施を検討。</p>
公平性、優先性	<p>[政策の特性に応じて、必要により評価]</p> <p>本事業は大学教育改革の推進において、国立・公立・私立の設置形態の別にかかわらず、公平に支援することができるとともに、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004（平成16年6月4日閣議決定）」に記載されている「高等教育の質的向上を図るため、...国公立を通じた競争原理に基づく支援へのシフトを促進する...」にも合致しており、優先すべき政策である。</p>
備考	<p>本事業は、博士（後期）課程レベルを対象とした「21世紀COEプログラム」、専門職学位課程レベルを対象とした「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」とともに、「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」として、高等教育の活性化を促進する事業である。</p> <p>当事業に関係する審議会からの提言等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21世紀の大学像と今後の改革方策について（H10.10.26 大学審議会答申）</li> <li>・ グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について（H12.11.22 大学審議会答申）</li> <li>・ 新しい時代における教養教育の在り方について（H14.2.21 中央教育審議会答申）</li> <li>・ 新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について（H15.3.20 中央教育審議会答申）</li> <li>・ 内閣府若者自立・挑戦戦略会議「若者自立・挑戦プラン」（H15.6.10）</li> <li>・ 内閣府「530万人雇用創出プログラム」（H15.6）</li> <li>・ 科学技術・学術審議会人材委員会 第二次提言 「国際競争力向上のための研究人材の養成・確保を目指して」（H15.6）</li> <li>・ 経済財政諮問会議「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」（H16.6）</li> </ul>

# 特色ある優れた大学教育の一層の展開 (グッド・プラクティス(GP))

大学の個性化・多様化や国際競争力の強化が求められる中、**大学教育の質を充実し、世界で活躍しうる人材を養成**

国公立大学を通じた競争原理に基づき、優れた教育プロジェクトを財政支援

## 特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)

各大学の教育目的に沿った特色ある組織的な取組で実績をあげている取組の中から、特に優れた教育プロジェクトを募集(5テーマ例を提示)・選定し、財政支援を実施。

平成15年度 応募 664件 選定 80件  
平成16年度 応募 534件 選定 58件

選定された取組については、事例集に取りまとめ、関係機関に配布するとともに、全国(平成15年度は東京、大阪の2カ所)で開催したフォーラムで研究素材に取り上げるなど、広く社会に情報提供。

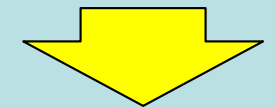
## 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

大学教育改革の推進について、各種審議会からの提言等、**社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を対し、各大学で計画された取組**の中から、特に優れた教育プロジェクトを選定し、財政支援を実施。

平成16年度 申請 559件 選定(9月下旬決定予定)  
公募テーマ 地域活性化への貢献  
知的財産関連教育の推進  
仕事で英語が使える日本人の育成  
他大学との統合・連携による教育機能の強化  
人材交流による産学連携教育  
ITを活用した実践的遠隔教育(e-Learning)

平成17年度の計画

社会的要請を踏まえた創造的な大学教育改革の促進とともに人間性豊かな多様な人材養成の推進



既に選定された取組の継続支援

新規公募の実施(新たな社会的要請に対応したテーマ設定が重要)

高等教育の活性化 / 人材養成機能の充実